

## 白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和5年11月～12月）

令和5年11月～12月の白石踊に関わる中学生・高校生の活動について報告します。

### 1. 山陽新聞投稿文

2023年11月9日の山陽新聞に投稿文が掲載されました。

夏休み、静岡県立島田商業高校と交流しました。島田商業は3年に1度開催される島田市伝統の祭り「島田大祭」を継承するための活動をしています。島田大祭とは別名「帯祭り」といい、屋台の地踊りなど元禄絵巻さながらの行列が繰り広げられます。

私たち倉敷翠松高校は、探求活動の授業で行っている白石踊の継承活動について話しました。その後に、島田市で行われた緑茶化縁日を見学させていただきました。縁日には島田商業からもブースを出していて、岡山県の白石踊のグッズも商品として売っていただきました。島田商業のブースには、ほかにも輪投げや射的など大人から子供まで楽しめる屋台がたくさんありました。それぞれが、地元の名所を連想させる工夫がしてあり、とても魅力的でした。翠松高校も今後、さまざまな行事に取り入れられると考えました。

遠く離れた県外の学校と交流する中で、伝統文化の継承、地元を生かした学校行事のつくり方などとても多くを学んだ交流でした。（文章 原田優雅）

2023年12月21日の山陽新聞に投稿文が掲載されました。

僕は白石踊の定期練習会に参加してブラブラ踊と太鼓の練習をしています。参加する度に白石公民館長さんに教えてもらいます。その練習の後、いろんな人に「どんどん上手くなっているね」「上手だね」「頑張れ」などよく声をかけていただきます。少しずつでも、太鼓がうまくなりたいと思いました。

7月には白石踊鑑賞・体験ツアーで白石島に行きました。僕は初めて浜辺でブラブラ踊を踊りました。踊っていると「太鼓たたけば」と勧められ、ツアー参加の皆さんの前で太鼓をたたくことができました。この後に本物の白石踊を鑑賞したら、衣装も踊りもすごかったです。太鼓の音は僕がたたく音とは全然違う力強い音でした。その上手な人のたたき方を見ると体もブレなくて立ち位置や体の向きも僕とは違うことに気づきました。

これからの練習では太鼓のたたき方や立ち位置などを修正しながら上達していきたいと思いました。（文章 横手 晶）

2023年12月28日の山陽新聞に投稿文が掲載されました。

私は倉敷翠松高校の探究活動で白石踊の継承活動に取り組んでいます。この度、一緒に取り組んでいる11人の生徒で、笠岡中央公民館で行われている白石踊の定期練習会に参加しました。

この練習会は地元の白石踊会の方たちだけでなく、今回初めての方もおり、40人ほどで行われました。練習会は老若男女問わず和気あいあいとした雰囲気、初めて参加した私たちにも優しく教えていただき、白石踊の基礎であるブラブラ踊をすぐ覚えることができました。

後半にいくつかの踊りに分かれて練習する際に、私は男踊を教えることができました。男踊はブラブラ踊を男らしく、大きく踊ります。最初はどこをどう動かしたらいいのか全然分からなかったのですが、個別で丁寧に指導していただくと、30分前の自分では思ってもいなかったほど踊れるようになりました。

まだまだ未熟な部分がたくさんあるので、一つひとつの練習を大切に、より一層精進していきたいと思います。

(文章：三澤拓磨)

## 2. 島田商業高校との交流（倉敷翠松高校にて）

静岡県立島田商業高校のみなさんが倉敷翠松高校にいらっしゃいました。私たちはお互いの探究活動で学んでいることを発表し合いました。

島田商業高校では、緑茶化計画といって島田市の魅力を緑茶愛で世界中に広めていくという活動をしているそうです。翠松高校は2つのプレゼンテーションをしました。一つは、抹茶班が地元の菓子店と共同開発をしたお菓子などを倉敷美観地区で販売したことです。もう一つは、僕たち白石踊班は白石島や白石踊の魅力、白石島が現在どのような問題に直面しているかを発表しました。島田商業高校のみなさんも白石踊に興味を持ってくれたようで嬉しかったです。

これからも、今回のように意見交換や交流をしてもっと白石島や白石踊の魅力を伝えていき、白石島を活気づけたいと思いました。

(文章：笠原 淳)



### 3. 定期練習会（笠岡市民会館にて）

以前、私は白石島に行って白石踊を体験しましたが、今回は笠岡市民会館で静岡県の島田商業高校のみなさんと一緒に白石踊を体験しました。高校生同士で踊るのは初めてだったので、いい経験になりました。

今回は私と島田商業高校の男子生徒は笠を使って踊る笠踊を体験しました。初めてだったので分からないことだらけでしたが、白石踊会の方々が丁寧に優しく教えてくださったおかげでしっかりと覚えてさらに踊れるようにもなりました。白石踊は人それぞれによって踊り方に多少違う所があると聞いて個性輝く豊かな踊りだなと感じました。だからこそ、800年もの間受け継がれてきたんだなと感激しました。本当に皆さん心優しい方々ばかりだったので、また行きたいなと強く思いました。

（文章：中山魁士）



以上